

第3期半田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 概要版

【1】策定の趣旨・対象期間

【策定の趣旨】

本市では、これまで第1期及び第2期の「半田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、人口減少への対応や地域経済の活性化に向けて、本市の特性や地域資源をふまえた施策・取組を進めてきました。

先般、国は新たに「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定しました。また、新たな課題や社会情勢の変化に的確に対応できるよう、本市の施策や具体的な取組を見直す必要があります。これをふまえ、本市が将来にわたり「選ばれるまち」、「住み続けたいまち」、「訪れたいまち」となることを目指し、第3期にあたる新たな総合戦略を策定しました。

【対象期間】

2025年度（令和7年度）～2029年度（令和11年度）の5年間

【2】地方創生の推進に向けて取り入れる視点

- ①「はたらく親を応援するまち」の施策推進
- ②デジタル技術の活用
- ③シティプロモーションの施策推進
- ④SDGsとの結びつき



【3】人口ビジョン（人口の将来推計）

本総合戦略にもとづく施策推進やその後の施策展開により、2030年に総人口113,100人、2070年に総人口92,100人の確保を図ります。



◆目指すべき将来の方向

- ・若い世代の就労、子育て環境等の改善・支援【自然増の確保】
- ・人口流入の確保【社会増の確保】
- ・人口流出の抑制【社会減の抑制】

【4】基本目標

基本目標1

産業を振興し安定して働く場のある「まち」をつくる

- 施策Ⅰ：競争力ある企業活動に向けた支援と持続可能な商工業の振興
 - ①企業経営の支援
 - ②持続可能な商工業の振興
- 施策Ⅱ：農業の担い手づくりと魅力向上
 - ①担い手の育成・確保
 - ②農業の魅力向上
- 施策Ⅲ：工業用地の確保と企業誘致
 - ①工業用地の整備
 - ②企業誘致の推進
 - ③工業団地周辺の環境改善

【数値目標】

- ・起業・創業件数（5年累計） 50件（2029年度）
- ・製造業従業者 22,500人（2028年）
- ・農業産出額 857千万円（2029年度）

基本目標2

市内外から人々が集い活発な交流のある「まち」をつくる

- 施策Ⅰ：地域資源を活用した観光とつながりづくりの推進
 - ①観光資源の充実と観光客の満足度向上
 - ②回遊性の向上
 - ③交流の促進と関係人口の拡大
 - ④インバウンド誘客の拡大に向けた取組と効果的な情報発信

【数値目標】

- ・観光入込客数 180万人（2029年度）

※市のホームページ（右図のQRコード）から総合戦略の本編を閲覧できます。
（半田市企画課 Tel:0569-84-0605）



基本目標3

若い世代に選ばれる「まち」をつくる

- 施策Ⅰ：出産・子育てのしやすい環境の整備
 - ①出産・子育てへの経済的支援
 - ②子どもを産み育てるサポート体制の充実
 - ③仕事と子育ての両立支援
- 施策Ⅱ：健やかな育ちと学びによる子どもの確かな成長の支援
 - ①子どもの健康の維持・増進
 - ②地域とともにふるさと半田を大切にする子どもの育成
 - ③子どもたちが幸せを実現するための教育の推進
キャリア教育の推進と知徳体のバランス豊かな子どもの育成
- 施策Ⅲ：若い世代の定住を促進
 - ①居住しやすい環境の整備
 - ②まちのイメージの向上とまちへの愛着醸成

【数値目標】

- ・出生数 800人（2029年度）
- ・若い世代の純移動数 279人（2029年度）

基本目標4

安全で快適な環境のもとで安心して暮らせる「まち」をつくる

- 施策Ⅰ：安心・安全なまちづくりの推進
 - ①災害に備えた対策の推進
 - ②地域防災活動の推進
 - ③防犯対策の充実
- 施策Ⅱ：健康づくりの推進と医療体制の充実
 - ①健康づくりの推進
 - ②医療体制の充実
- 施策Ⅲ：多文化共生の推進
 - ①多文化社会を支えるひとづくり・まちづくり
 - ②共生のための支援

【数値目標】

- ・これからも半田市に住み続けたいと思う市民の割合 73%（2029年度）